

2022年3月6日

神奈川シニアサッカーリーグにおける新型コロナウイルス感染対応について

(一社)神奈川シニアサッカーリーグ

競技委員長 星野晃男

2022年度リーグ戦を4月より開始する予定で進めておりますが、まん延防止等重点措置が3月21日まで延長され今後も予断を許さない状況にあります。この状況を踏まえ、リーグ戦の運用に関して新型コロナウイルス感染に対する基本的な対応方針を以下に示します。各チームにおかれましては、ご理解・ご了解の上リーグ戦に参加して頂きますようお願い致します。

なお、ご了解頂けないチームは競技委員・競技理事に連絡の上、リーグ戦への参加は見合わせて下さい。

今後の感染状況の変化により、感染に対する対応方針は見直してまいります。当面は下記対応方針で進めます。また、不参加のチームがあった場合には、当該カテゴリーの扱いについて別途協議してまいります。

1. 報告

チームのメンバーが感染した場合は、速やかに競技委員・競技理事・競技委員長に報告のこと。

報告に際しては、下記に示す通り「新型コロナウイルスに感染した人が他の人に感染させてしまう可能性がある期間は、発症の2日前から発症後 7～10 日間程度とされています。」ので、発症日、無症状の場合は診断された日を正確に把握し報告して下さい。

2. チームの対応

感染者及び濃厚接触者(外出さえできないはずですが)は発症または診断から10日間の出場停止。さらにチーム内でこれらのメンバーと練習や会食などで接触したものがいる場合は、それらのメンバーも全て最終接触から10日間の出場停止。その結果チームとして試合成立する人数が集まらなければ、不戦敗扱いとする。

ただし、試合結果は0-3とするが、勝ち点は-1とせず0とする。

3. 該当カテゴリーのリーグ戦について

感染者がリーグ戦出場、若しくは練習等に参加していたことが判明した場合、当日会場にいたチームのカテゴリーは原則として10日間は試合を禁止し、延期扱いとする。

4. 2020、2021年度との対応の違い

従来は、感染者の出たチーム及び感染防止のため試合を辞退したチームは、いずれも不戦敗とせず延期扱いとしておりましたが、2022年度は感染者(または濃厚接触者)の出ていないチームが試合を辞退した場合は、チーム都合による棄権とみなし、試合結果は0-3、勝ち点は-1とします。

以上

2022年2月版 新型コロナウイルス感染症の“いま”に関する11の知識より
(<https://www.mhlw.go.jp/content/000788485.pdf>)

Q 新型コロナウイルスに感染した人が、他の人に感染させてしまう可能性がある期間はいつまでですか。

A 新型コロナウイルスに感染した人が他の人に感染させてしまう可能性がある期間は、発症の2日前から発症後 7～10 日間程度とされています。※

※ また、この期間のうち、発症の直前・直後で特にウイルス排出量が高くなると考えられています。このため、新型コロナウイルス感染症と診断された人は、症状がなくとも、不要・不急の外出を控えるなど感染 防止に努める必要があります。

※新型コロナウイルス感染症(COVID-19)診療の手引き・第6.2版より